

上皇が造った  
／ 広大&絶景の山荘 ／

# 修学院離宮

SHUGAKUIN RIKYU



しゅうがくいん りきゅう

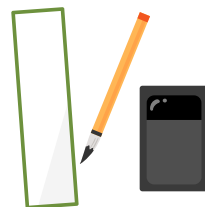
修学院離宮ってどんなところ？

江戸時代初期の1659年に、後水尾上皇ごみずのおじょうこう ひえいざんが比叡山ひえいざんのふもとに別荘として造営した修学院離宮。上離宮かみりきゅう、中離宮なかりきゅう、下離宮しもりきゅうの3つの離宮があり、それぞれに美しいお庭や素晴らしい建物が存在しています。また、周囲の山や田んぼも使った借景庭園しゃっけいていえんであり、上皇はこの広大な山荘で、和歌やお茶、舟遊びなどを楽しまれました。

ごみずのおじょうこう

造った後水尾上皇ってどんな人？

第108代天皇。文学や和歌、書道に秀でた方で、この修学院離宮の場所も自ら選び、草木や石の配置まで自分好みに行いました。



## 修学院離宮の見どころ

1

山や田畑もとりこんだ  
借景庭園



もともとある自然の風景を、お庭の美しさの一部として取り入れることを「借景」と言います。修学院離宮は、借景を使っていることでも有名な庭園です。後水尾上皇が愛した景色をなくさないために、山や田畑も含めて宮内庁京都事務所が守り続けています。

2

天下の三名棚のひとつ  
霞棚

桂離宮かつらぎゅうの「桂棚かつらだな」、醍醐寺三寶院だいごじさんぼういんの「醍醐棚だいごだな」とともに「天下の三名棚」に数えられているのが、修学院離宮の「霞棚かすみだな」です。中離宮の客殿きやくでんにあり、5枚の棚板を互い違いに配置し、まるで霞がたなびいているようなデザインからその名が付けられました。



3

上離宮から見下ろす  
圧観の眺望



上離宮の隣雲亭りんうんていからは、今でも京都市街が一望でき、修学院離宮を代表する景観です。また、浴龍池よくりゅうちや洛北の山々、晴れた日には西山の方まで見渡せる天下の絶景として、訪れる人を喜ばせています。



# ( 修学院離宮 MAP )

3つの離宮が  
できた順番

- 1 下離宮
- 2 上離宮
- 3 中離宮



しも り きゅう

## 下離宮

後水尾上皇が最初に造った離宮で、入口の御幸門には、後水尾上皇のお気に入りの花菱模様が見られます。遣水が流れるお庭で、鯉の口のような珍しい形の灯籠があります。

### A じゅげつ かん 寿月観



休憩をされたり、夕御膳を召し上がったりする場所として使われました。名前にもあるとおり、月が見えやすい向き(東南)に造られています。



修学院離宮の大きさは借景の山々も含めると約545,000平方メートル！東京ドーム約12個分の山荘庭園なんだ！



なか り きゅう

## 中離宮

後水尾上皇の第8皇女・光子内親王のために造られた山荘の一部が、現在の中離宮です。

### E らく し けん 楽只軒



光子内親王のために建てられました。吉野山の桜や龍田川の紅葉が画かれた優美な障壁画があります。

### F きやく でん 客殿



後水尾天皇の中宮・東福門院(徳川和子)の御所から奥対面所を移築したもので、華やかな内装です。「霞棚」もここにあります。

CHECK



扉に画かれた鯉の絵には網がかかっています！これは鯉が逃げだす伝説があるからです！

## 上離宮

修学院離宮の中で一番高いところに造られた、浴龍池を中心とした回遊式庭園です。

### B りん うん てい 隣雲亭



離宮内NO.1のビュースポット！



上離宮のお庭全体が見下ろせる高い場所にあります。眺望を楽しむための建物です。

### C よくりゅう ち 浴龍池



池の中の島を龍の背中に見立てて、その名が付けられたとされています。ここでは舟遊びを楽しみました。

### D きゅう すい てい 窮邃亭



中島の頂上にある建物で、三方の窓を開けてパノラマ景観を楽しめます。創建当初から現存している建物です。